

高校等で人権教育をかなり学んだ人で「幸せに過ごしているように思う」が40.4%と多く、「わからない」が、全く学んでいない人で20.9%、この学校に行っていない人で27.5%と多くなっています。

## (2) 学校では

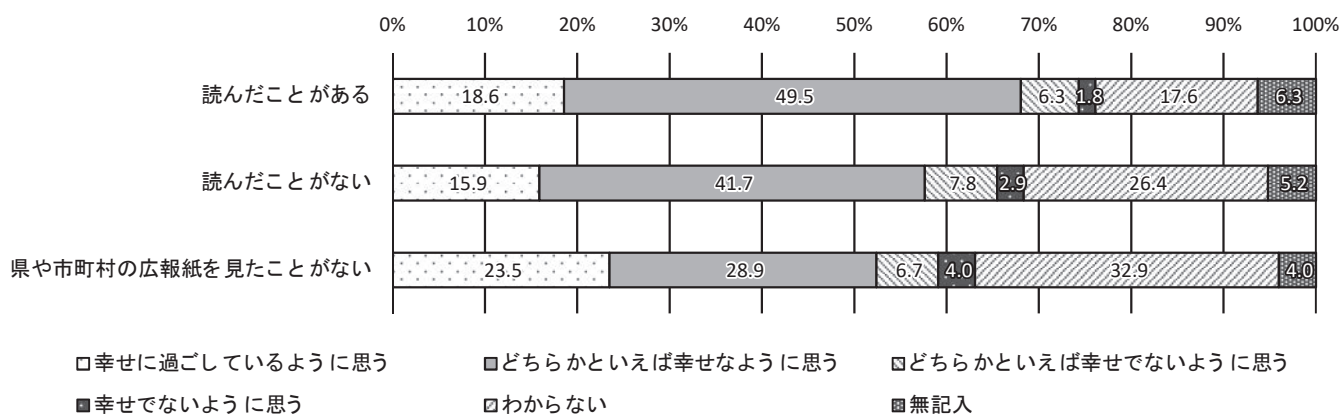
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	幸せに過ごしているように思う	279	18.1	19.3	19.2
2	どちらかといえば幸せなように思う	690	44.8	47.8	45
3	どちらかといえば幸せでないように思う	103	6.7	7.1	6.4
4	幸せでないように思う	37	2.4	2.6	2.1
5	わからない	336	21.8	23.3	17.6
	無記入	94	6.1		9.8
	N (%ベース)	1,539	100	1,445	1,996

「あなたは、子どもの様子をどう感じていますか。」の(2)「学校では」について、「幸せに過ごしているように思う」279人18.1%(19.3%)、「どちらかといえば幸せなように思う」690人44.8%(47.8%)、「どちらかといえば幸せでないように思う」103人6.7%(7.1%)、「幸せでないように思う」37人2.4%(2.6%)、「わからない」336人21.8%(23.3%)、「無記入」94人6.1%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、大きな変化はありませんが、「幸せに過ごしているように思う」が1.1%低くなり、「わからない」が4.2%高くなっています。

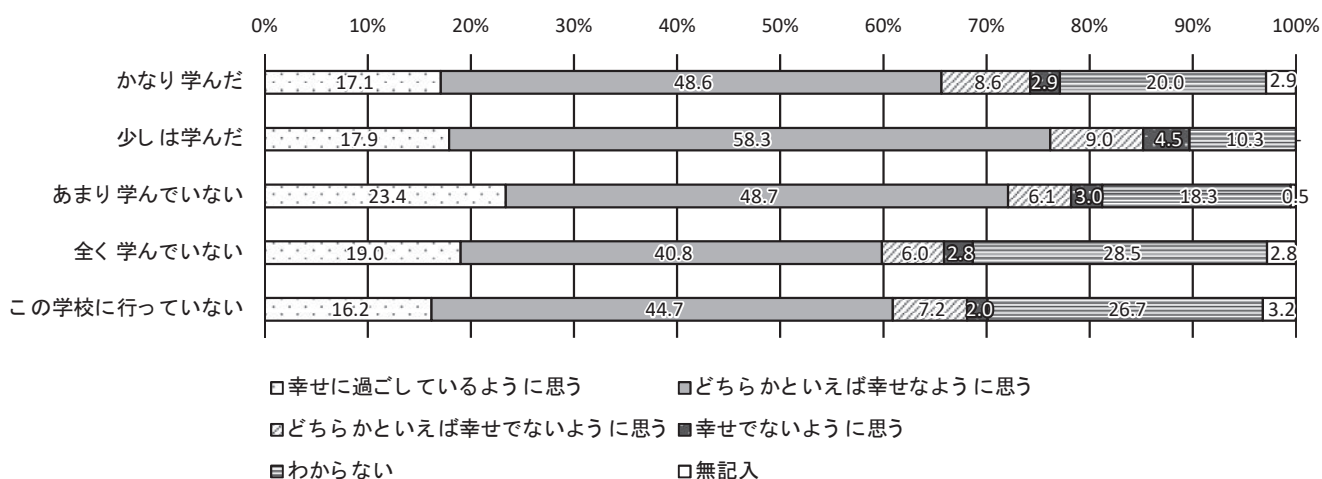
多重相関は0.282で、有意な分析です。広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、大学(短大・高専)での人権教育、次いで中学校での人権教育、年齢、職業、高校での人権教育と関連があるようです。人権に関する映画、ビデオ、テレビ、ラジオの視聴、小学校での人権教育とは有意な関連はありません。

問4-1 子どもの様子 (2) 学校では ×  
問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか



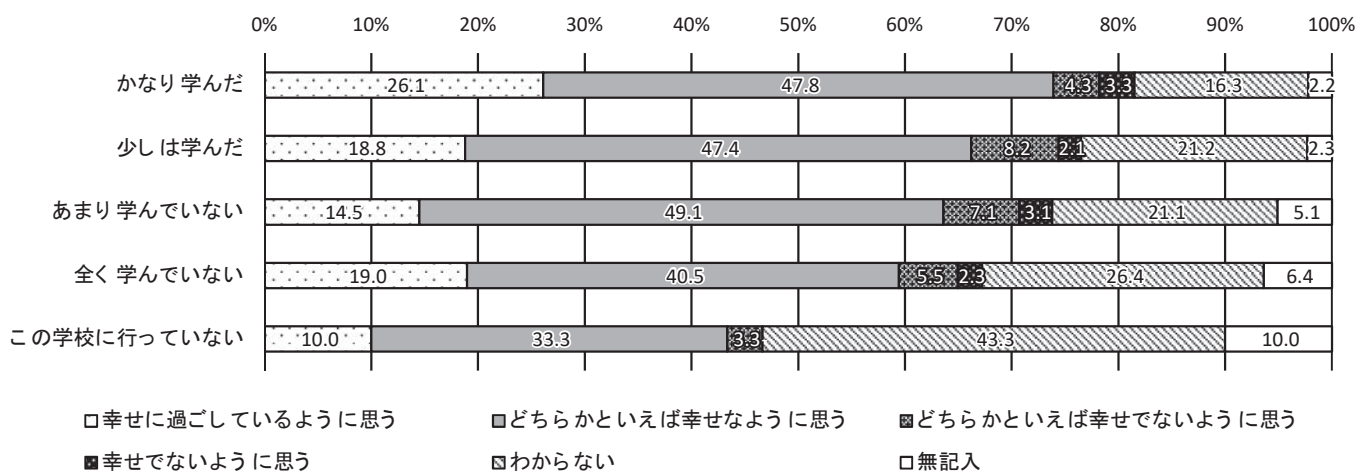
「どちらかといえば幸せに過ごしているように思う」が、県や市町村が出している広報紙の人権関連記事を読んだことがある人で49.5%、読んだことがない人で41.7%、広報紙を見たことがない人で28.9%となっています。「わからない」が、読んだことがある人で17.6%、読んだことがない人で26.4%、広報紙を見たことがない人で32.9%となっています。

問4-1 子どもの様子 (2) 学校では × 問9 (4) 大学での人権教育

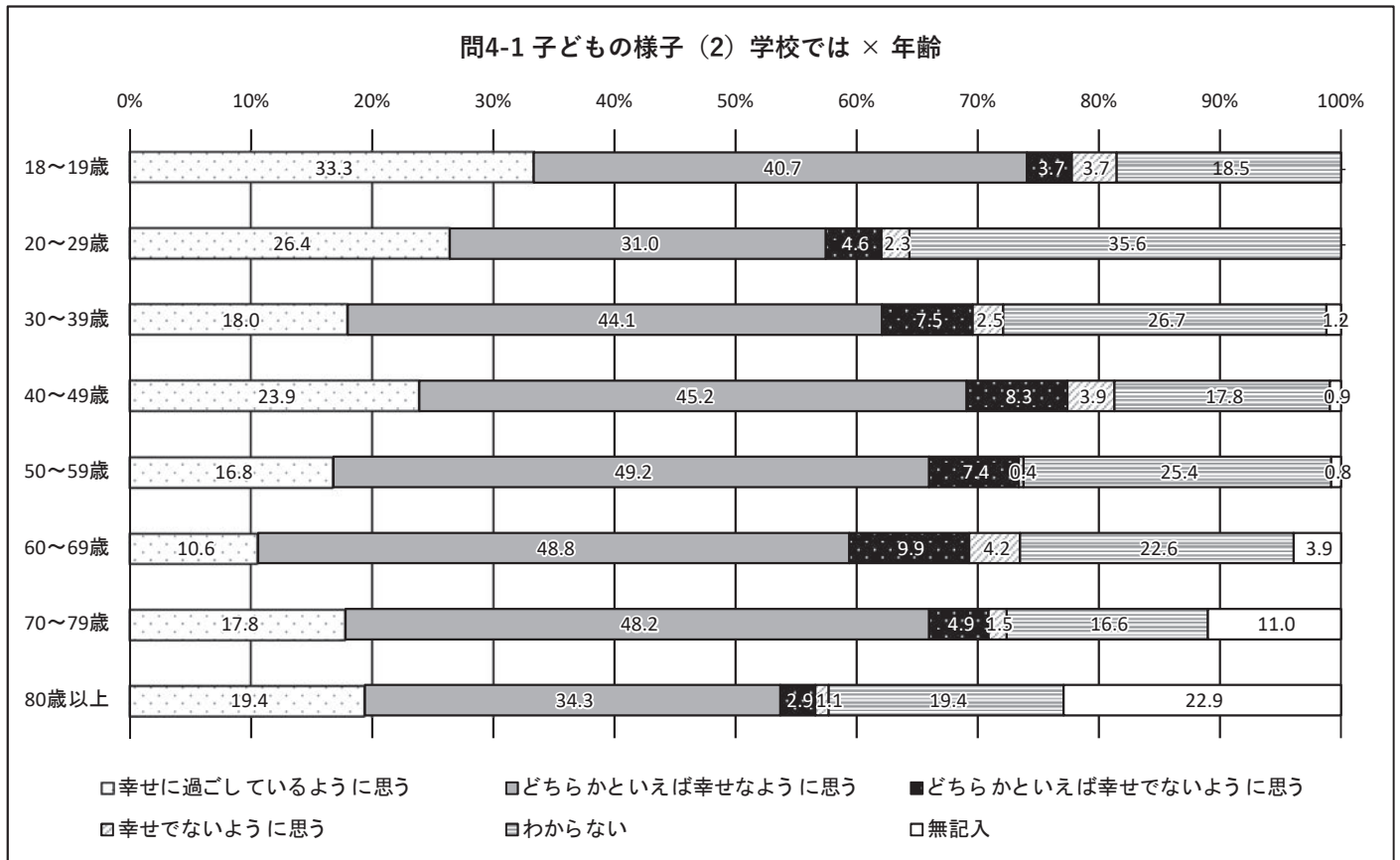


「わからない」が大学(短大・高専)での人権教育を全く学んでいないで28.5%、この学校に行っていないで26.7%と高くなっています。

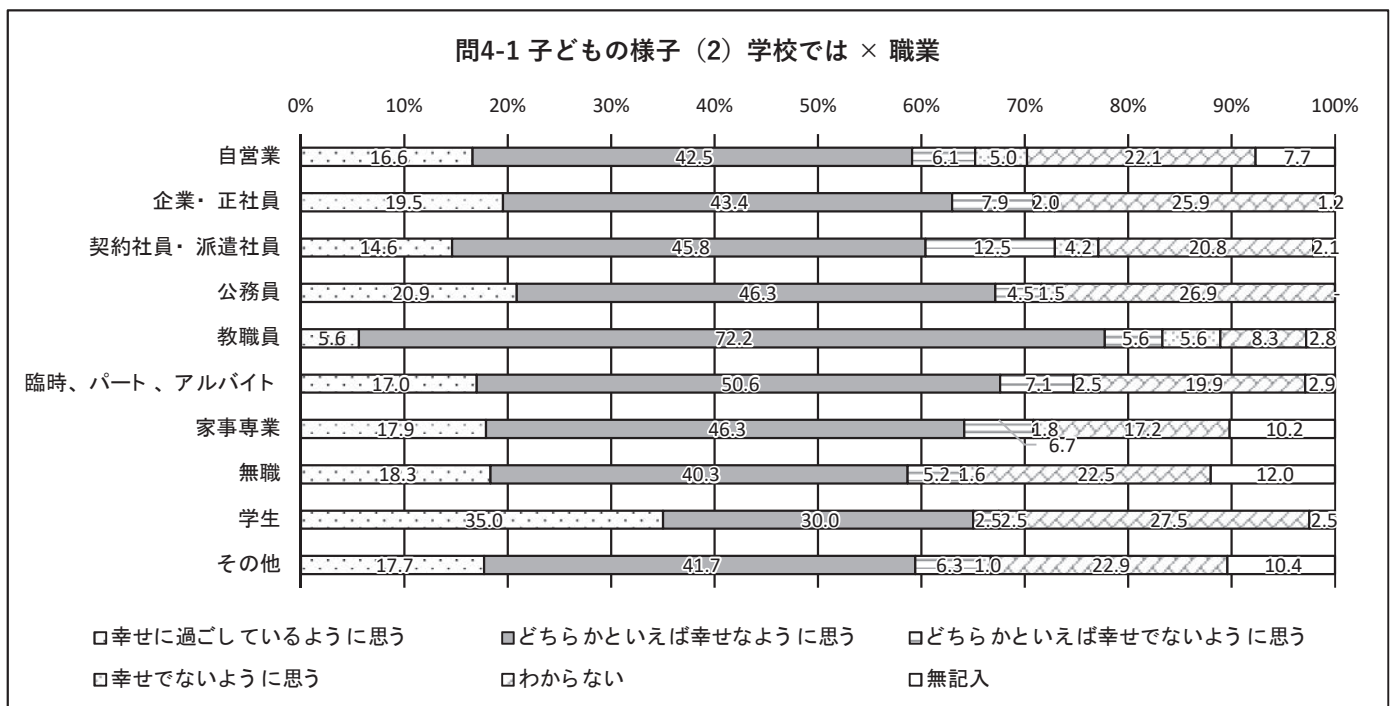
問4-1 子どもの様子 (2) 学校では × 問9 (2) 中学校での人権教育



「幸せに過ごしているように思う」が、中学校で人権教育をかなり学んだ人で 26.1%と高くなっています。「わからない」が全く学んでいない人で 26.4%、この学校に行っていない人で 43.3%と高くなっています。学んでいる人ほど「幸せ」、「どちらかといえば幸せ」を合わせた割合が高くなっています。

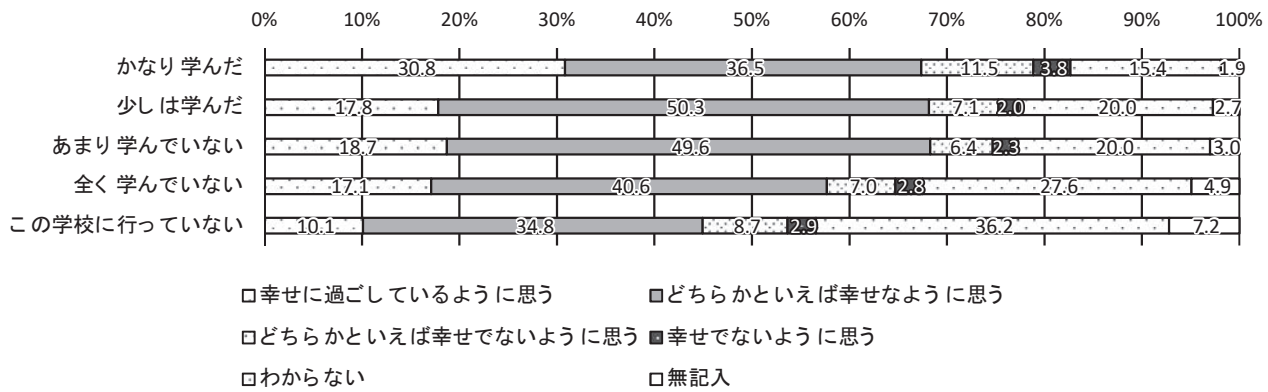


18～19歳で「幸せて過ごしているように思う」が 33.3%と高くなっています。20歳代で「わからない」が 35.6%と高くなっています。80歳以上で無記入が 22.9%と高くなっています。



学生で「幸せて過ごしているように思う」が 35.0%と高くなっています。教職員で「どちらかといえば幸せに過ごしているように思う」が 72.2%と高くなっています。

問4-1 子どもの様子 (2) 学校では × 問9 (3) 高校での人権教育



高校で人権教育をかなり学んだ人では「幸せに過ごしているように思う」が30.8%と高くなっています。少しは学んだ人では「どちらかといえば幸せに過ごしているように思う」が50.3%、あまり学んでいない人では49.6%と高くなっています。「わからない」が全く学んでいない人では27.6%、この学校に行っていない人では36.2%と高くなっています。

### (3) 地域(家庭や学校以外)では

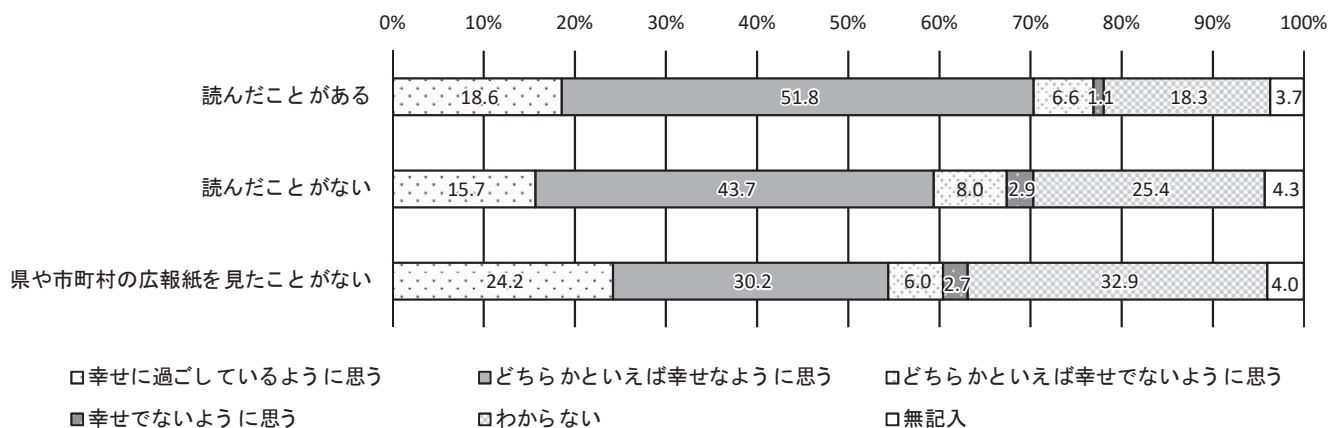
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	幸せに過ごしているように思う	279	18.1	19.0	19.6
2	どちらかといえば幸せなように思う	721	46.8	49.0	47.7
3	どちらかといえば幸せでないように思う	106	6.9	7.2	5.2
4	幸せでないように思う	28	1.8	1.9	1.6
5	わからない	338	22.0	23.0	18.1
	無記入	67	4.4		7.7
	N (%ベース)	1,539	100	1,472	1,996

「あなたは、子どもの様子をどう感じていますか。」の(3)「地域(家庭や学校以外)では」について、「幸せに過ごしているように思う」279人18.1%(19.0%)、「どちらかといえば幸せなように思う」721人46.8%(49.0%)、「どちらかといえば幸せでないように思う」106人6.9%(7.2%)、「幸せでないように思う」28人1.8%(1.9%)、「わからない」338人22.0%(23.0%)、「無記入」67人4.4%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

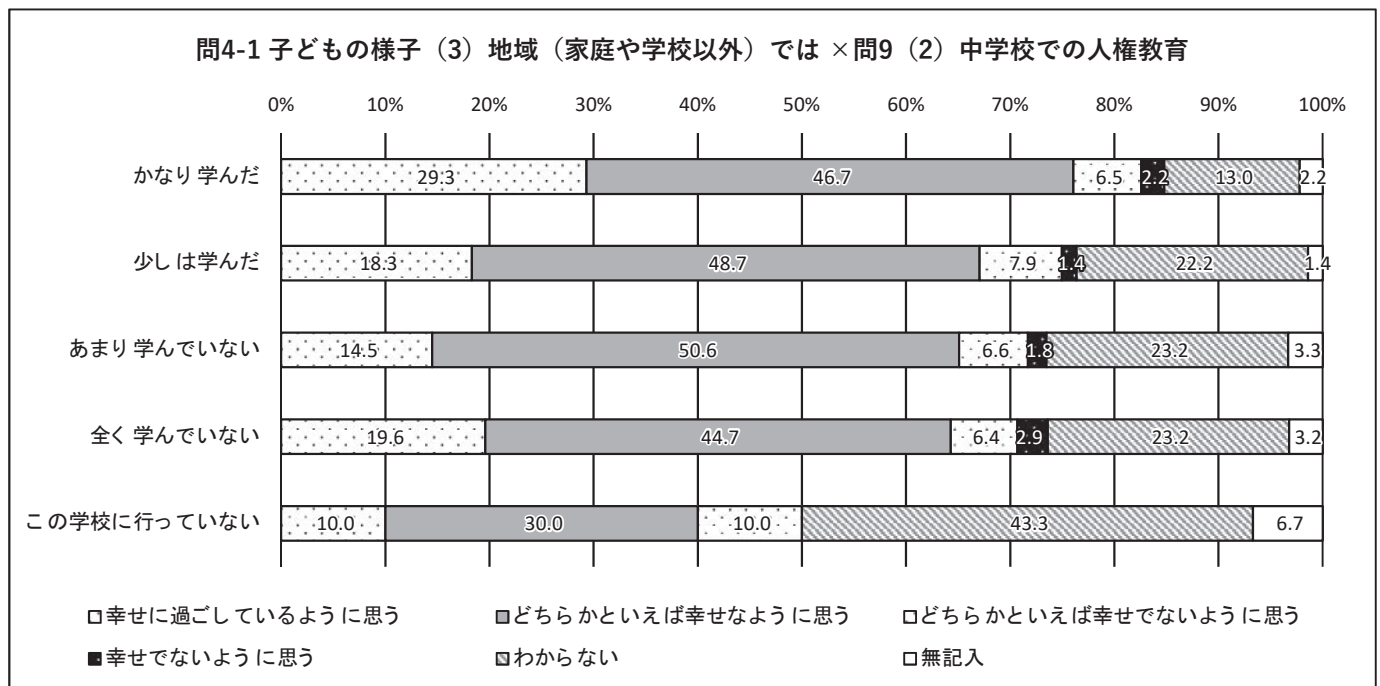
前回調査と比べ大きな変化はありませんが、「幸せに過ごしているように思う」が1.5%少なくなり、「わからない」が3.9%高くなっています。「無記入」が3.3%低くなっています。

多重相関は0.279で、有意なモデルです。10の説明変数すべて有意です。県や市町村の広報紙の人権関連記事を読んだことがあるかの関連性が高く、次いで、中学校での人権教育、大学での人権教育などとなっています。

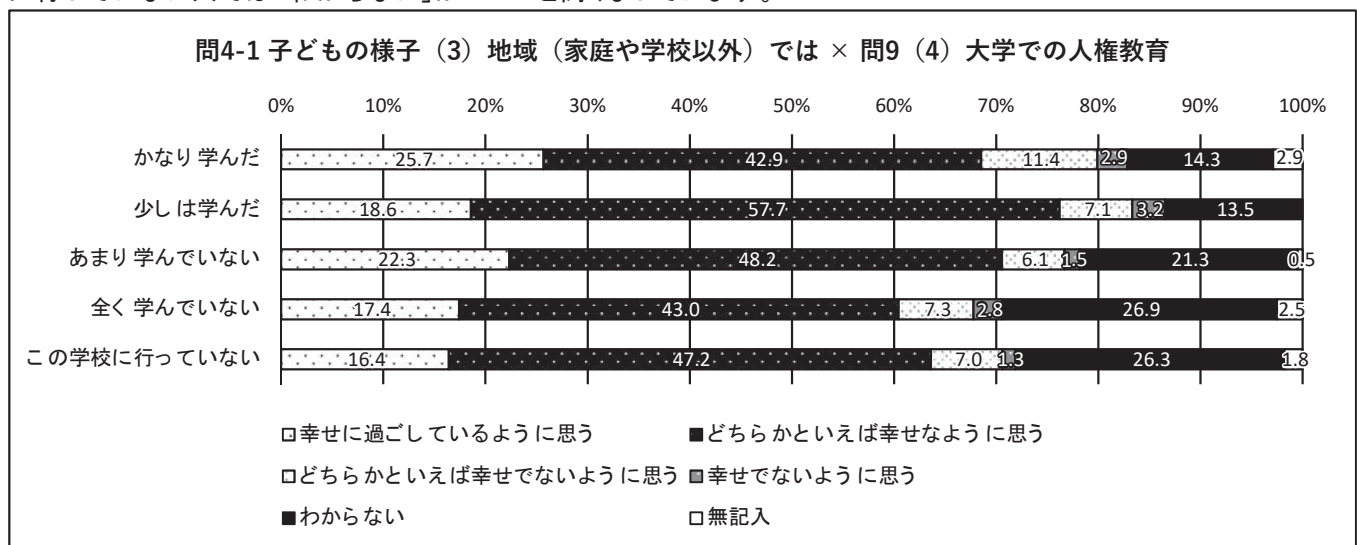
問4-1 子どもの様子 (3) 地域(家庭や学校以外)では ×  
問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか



地域(家庭や学校以外)では「どちらかといえば幸せなように思う」が、広報紙を読んだことがある人では 51.8%、読んだことがない人では 43.7%、広報紙を見たことがない人で 30.2%となっています。「わからない」は、広報紙を読んだことがある人では 18.3%、読んだことがない人では 25.4%、広報紙を見たことがない人で 32.9%となっています。



「幸せに過ごしているように思う」が、中学校で人権教育をかなり学んだ人では 29.3%と高くなっています。この学校に行っていない人では「わからない」が 43.3%と高くなっています。



大学(短大・高専)で人権教育をかなり学んだ人では「幸せに過ごしている」が 25.7%と高く、少しは学んだ人では「どちらかといえば幸せなように思う」が 57.7%と高くなっています。「わからない」は全く学んでいない人では 26.9%、この学校に行っていない人では 26.3%と高くなっています。



## 問 4-2 子どもに関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査	全国調査
1	いじめ	1,148	74.6	77.3	73.4	65.2
4	いじめや虐待の見て見ぬふり	836	54.3	56.3	51.3	56.0
3	虐待	802	52.1	54.0	53.9	53.9
7	家庭の経済状況で自己実現できない	738	48.0	49.7	41.4	
6	学力評価の優先	623	40.5	42.0	38.9	
8	ヤングケアラー	488	31.7	32.9		
2	体罰	453	29.4	30.5	27.5	34.8
9	児童買春・児童ポルノ等	322	20.9	21.7	22.1	23.7
5	進学先等本人の希望を大人が無視する	311	20.2	20.9	16.2	31.4
10	性的行為や暴力シーンを見せる	236	15.3	15.9	15.4	
13	わからない	108	7.0	7.3	5.2	
12	特に問題はない	45	2.9	3.0	4.1	12.0
11	その他	23	1.5	1.5	1.7	1.5
	無記入	54	3.5		4.4	1.3
	N (%ベース)	1,539	100	1,485	1,996	1,556

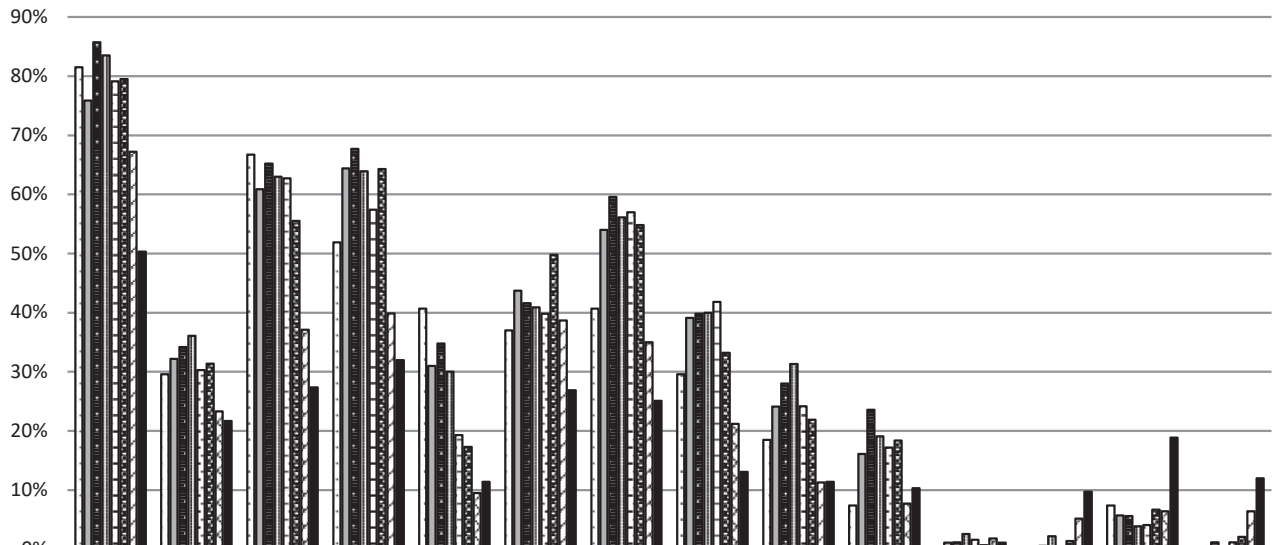
「あなたは、子どもに関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答可)」について、1位「1.いじめを受けること」1,148人 74.6%(77.3%)、2位「4.いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをされること」836人 54.3%(56.3%)、3位「3.虐待を受けること」802人 52.1%(54.0%)、4位「7.家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」738人 48.0%(49.7%)、5位「6.学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと」623人 40.5%(42.0%)、6位「8.家庭の中で、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負っていること(ヤングケアラー)」488人 31.7%(32.9%)、7位「2.体罰を受けること」453人 29.4%(30.5%)、8位「9.児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること」322人 20.9%(21.7%)、9位「5.進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること」311人 20.2%(20.9%)、10位「10.性的行為や暴力シーンを子どもに見せること」236人 15.3%(15.9%)、11位「13.わからない」108人 7.0%(7.3%)、12位「12.特に問題はない」45人 2.9%(3.0%)、13位「11.その他」23人 1.5%(1.5%)、「無記入」54人 3.5%となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、4位「家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」が6.6%・9位「進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること」が4.0%・2位「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをされること」が3.0%・7位「体罰を受けること」が1.9%高くなっています。3位「虐待を受けること」が1.8%・8位「児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること」が1.2%低くなっています。

全国調査と比べ、1位「いじめを受けること」が9.4%高く、9位「進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること」が11.2%・7位「体罰を受けること」が5.4%・8位「児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること」が2.8%・「特に問題はない」が9.1%低くなっています。

子どもに関する人権問題について、年齢と、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、小学校での人権教育などが多くの選択肢と関連しています。性別と職業、人権に関する講演会・研修会等への参加とはあまり関連がありません。性別では大きな関連はありませんが、体罰を受けることが男性 24.3%・女性 33.1%と有意な差があります。

問4-2 子どもに関する人権問題 × 年齢

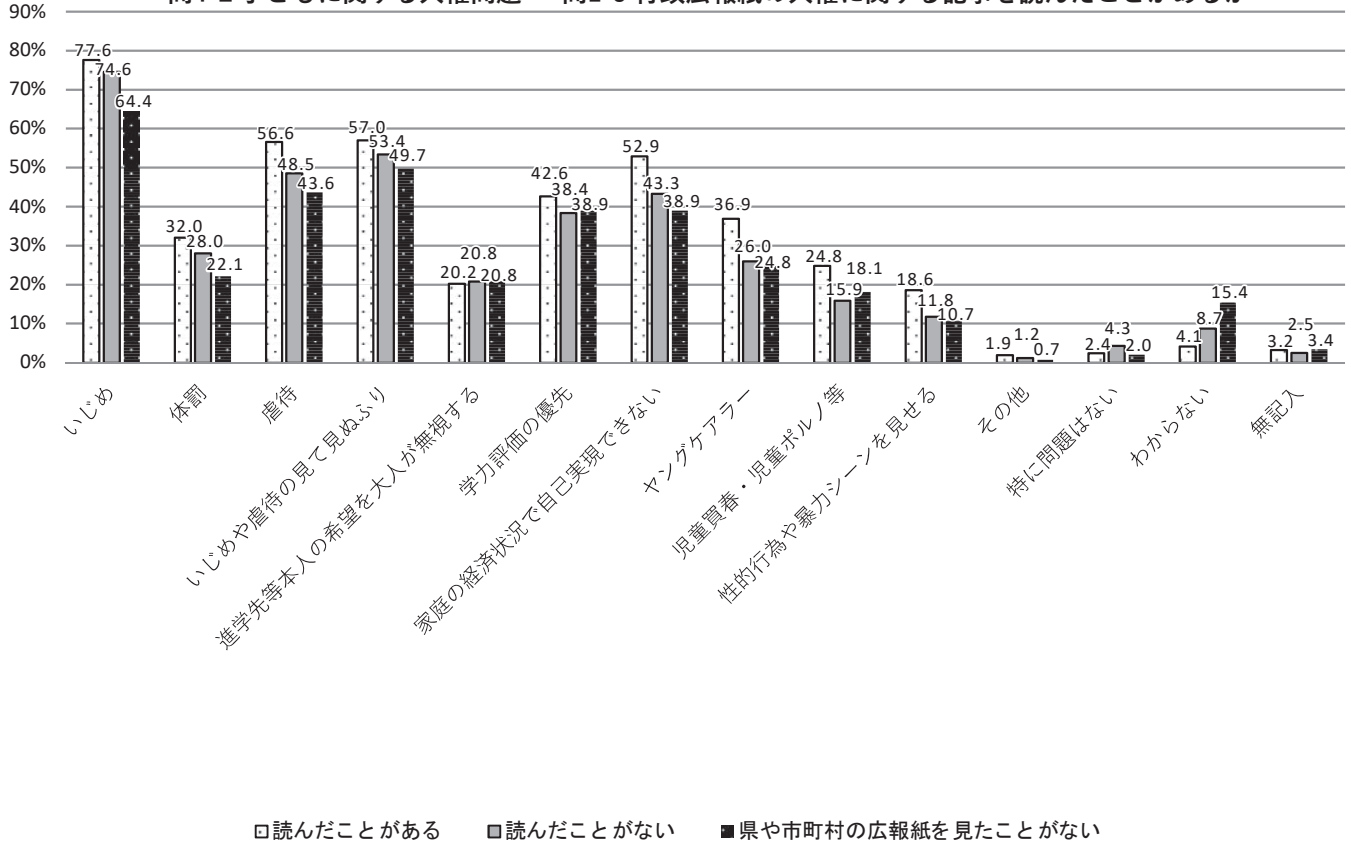


	いじめ	体罰	虐待	いじめや虐待の 見て見ぬふり	進学先等本人の希望 を大人が無視する	学力評価の優先	家庭の経済状況で 自己実現できない	ヤングケアラー	児童買春・児童ポルノ等	性的行為や暴力 シーンを見せる	その他	特に問題はない	わからない	無記入
□18～19歳	81.5	29.6	66.7	51.9	40.7	37.0	40.7	29.6	18.5	7.4	-	-	7.4	-
▣20～29歳	75.9	32.2	60.9	64.4	31.0	43.7	54.0	39.1	24.1	16.1	1.1	-	5.7	-
■30～39歳	85.7	34.2	65.2	67.7	34.8	41.6	59.6	39.8	28.0	23.6	1.2	0.6	5.6	1.2
▨40～49歳	83.5	36.1	63.0	63.9	30.0	40.9	56.1	40.0	31.3	19.1	2.6	2.2	3.9	-
□50～59歳	79.1	30.3	62.7	57.4	19.3	39.8	57.0	41.8	24.2	17.2	1.6	0.4	4.1	1.2
■60～69歳	79.5	31.4	55.5	64.3	17.3	49.8	54.8	33.2	21.9	18.4	0.7	1.4	6.7	2.1
▣70～79歳	67.2	23.3	37.1	39.9	9.5	38.7	35.0	21.2	11.3	7.7	1.8	5.2	6.4	6.4
■80歳以上	50.3	21.7	27.4	32.0	11.4	26.9	25.1	13.1	11.4	10.3	1.1	9.7	18.9	12.0

□18～19歳 ■20～29歳 ■30～39歳 ▨40～49歳 □50～59歳 ■60～69歳 ▣70～79歳 ■80歳以上

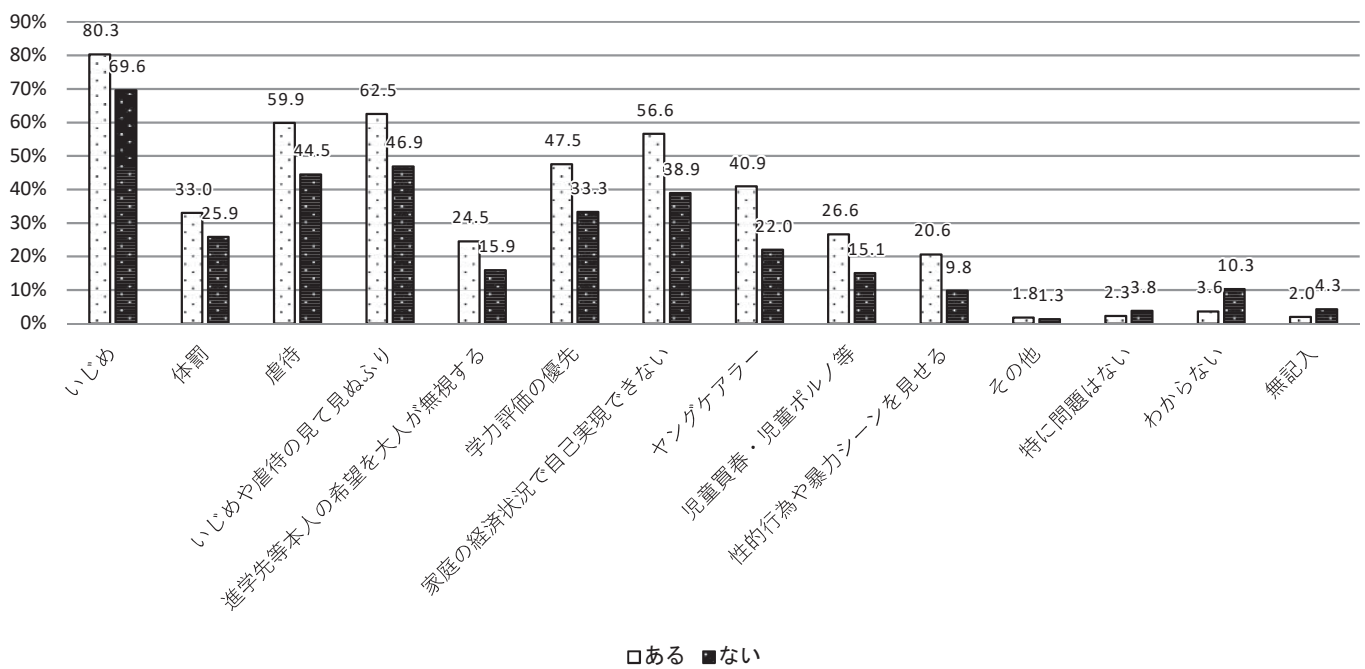
「虐待を受けること」30歳代 65.2%、80歳以上 27.4%、「進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること」が18～19歳 40.7%、70歳代 9.5%など、若い人で割合が高く、年齢で大きな差があります。「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをされること」30歳代 67.7%、80歳以上 32.0%、「家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」30歳代 59.6%、80歳以上 25.1%、「児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること」40歳代 31.3%、70歳代 11.3%など、年齢による差が大きいです。

問4-2 子どもに関する人権問題 × 問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか



「いじめを受けること」について、広報紙の人権記事を読んだことがある 77.6%・読んだことがない 74.6%・見たことがない 64.4%など、「体罰を受けること」、「虐待を受けること」、「家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」、「家庭の中で、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負っていること(ヤングケアラー)」などで、広報紙の人権関連記事を読んだことがある人で割合が高く、読んだことがない人、広報紙を見たことのない人で割合が低くなっています。

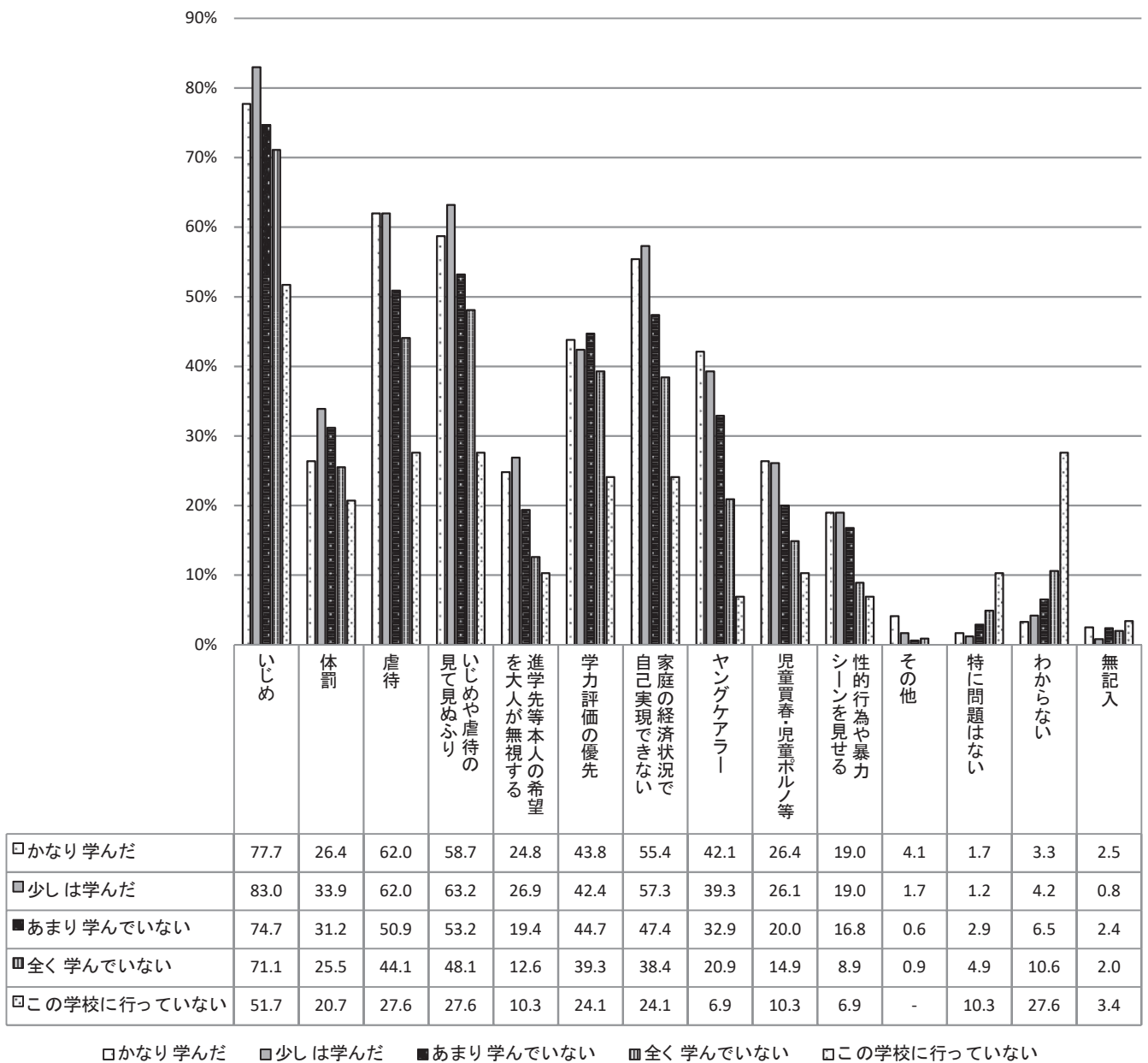
問4-2 子どもに関する人権問題 × 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無





「いじめを受けること」について、人権に関するテレビ・ラジオを視聴したことがある 80.3%・視聴したことがない 69.6% など、「わからない」を除く選択肢で、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を聴いたりしたことがある人が選択する割合が高くなっています。

問4-2 子どもに関する人権問題 × 問9 (1) 小学校での人権教育



「いじめを受けること」について、小学校の人権教育をかなり学んだ 77.7%・少しは学んだ 83.0%・あまり学んでいない 74.7%・全く学んでいない 71.1%など、「いじめ」、「体罰や虐待を見て見ぬふりをされること」、「学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと」、「家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)」などがとくに小学校での人権教育と関連しています。

## 7. 障がい者(精神障がい者を含む)の人権

### 問 5-1 障がい者の人権は保障されていると思いますか

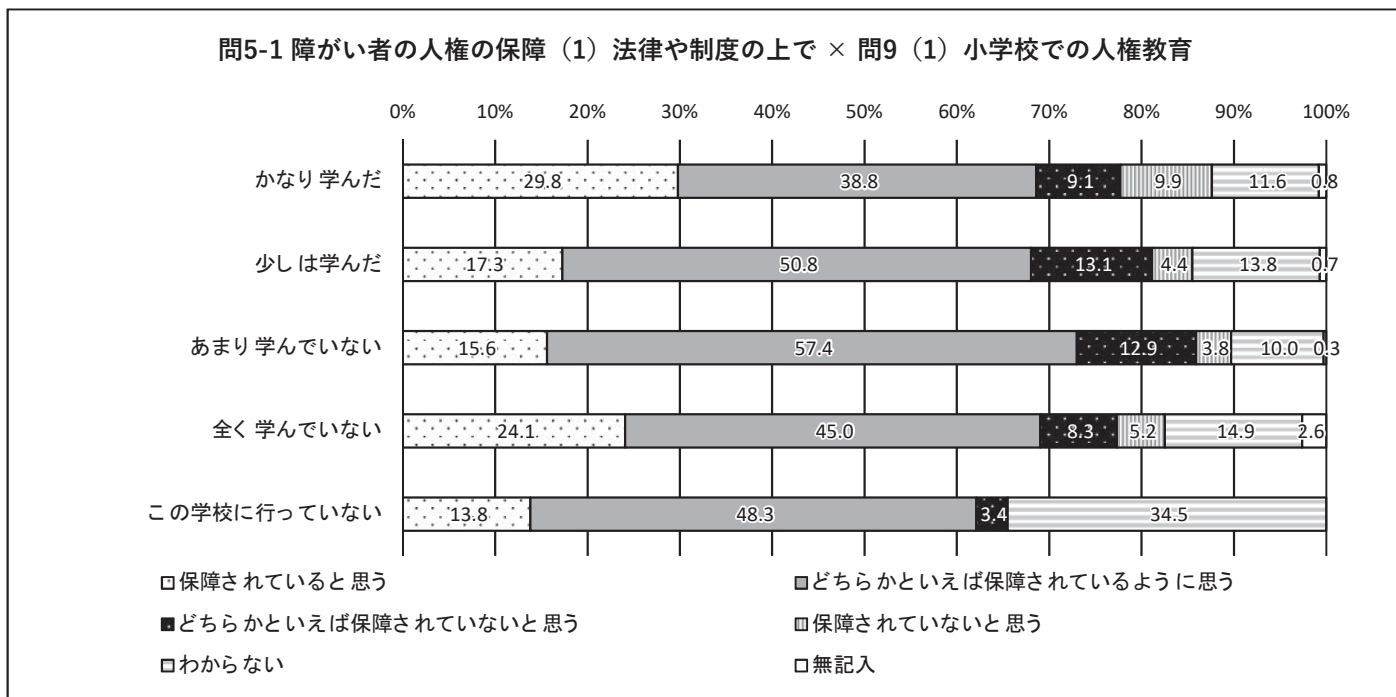
#### (1) 法律や制度の上で

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	保障されていると思う	297	19.3	19.9	19.6
2	どちらかといえば保障されているように思う	749	48.7	50.1	48.5
3	どちらかといえば保障されていないと思う	169	11.0	11.3	10.4
4	保障されていないと思う	72	4.7	4.8	3.9
5	わからない	207	13.5	13.9	13.3
	無記入	45	2.9		4.3
	N (%ベース)	1,539	100	1,494	1,996

「あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。」の(1)「法律や制度の上で」について、「保障されていると思う」297人 19.3%(19.9%)、「どちらかといえば保障されているように思う」749人 48.7%(50.1%)、「どちらかといえば保障されていないと思う」169人 11.0%(11.3%)、「保障されていないと思う」72人 4.7%(4.8%)、「わからない」207人 13.5%(13.9%)、「無記入」45人 2.9%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、ほとんど変化はありません。無記入が1.4%低くなっています。

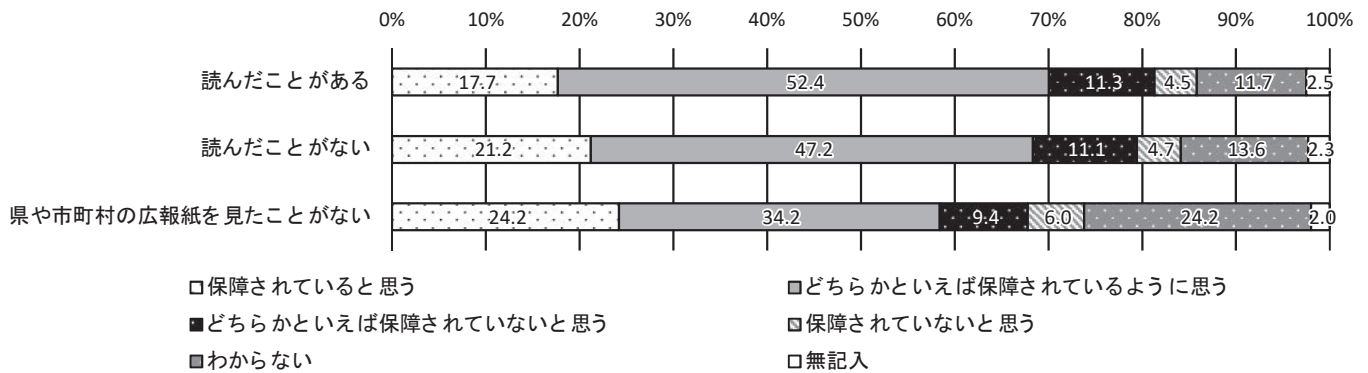
多重相関は0.273で、有意なモデルです。小学校での人権教育が強い関連、次いで広報紙の人権関連記事を読んだことがあるか、大学(短大・高専)等での人権教育、年齢が関連しています。性別、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、人権に関する講演会や研修会等への参加では有意な関連がありません。



小学校で人権教育をかなり学んだ人では、「保障されていると思う」が29.8%と高く、「保障されていないと思う」も9.9%と高くなっています。「どちらかといえば保障されているように思う」があまり学んでいない人で57.4%と高くなっています。全く学んでいない人で、「保障されていると思う」が24.1%、「わからない」が14.9%と高くなっています。

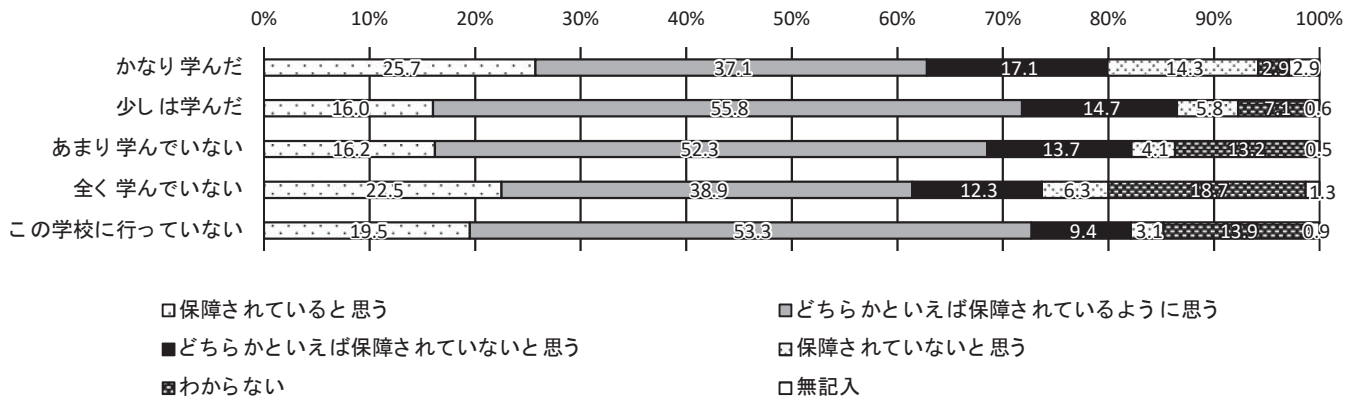
問5-1 障がい者の人権の保障 (1) 法律や制度の上で

× 問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか



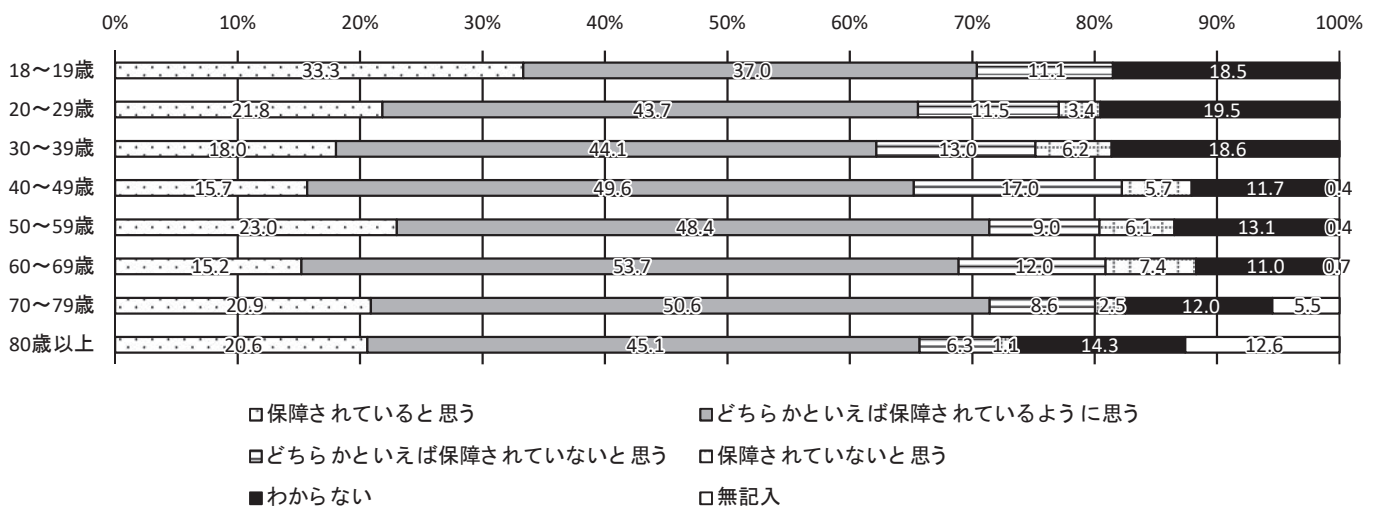
広報紙の人権に関する記事を読んだことがある人で「どちらかといえば保障されているように思う」が52.4%と高く、「保障されていると思う」は17.7%と低くなっています。広報紙を見たことがない人で「保障されていると思う」が24.2%、「わからない」が24.2%と高くなっています。

問5-1 障がい者の人権の保障 (1) 法律や制度の上で × 問9 (4) 大学での人権教育



大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人で「保障されていると思う」が25.7%、「保障されていないと思う」も14.3%と高くなっています。「どちらかといえば保障されているように思う」が少しは学んだ人で55.8%、あまり学んでいない人で52.3%、この学校に行っていない人で53.3%と高くなっています。全く学んでいない人で「わからない」が18.7%と高くなっています。

問5-1 障がい者の人権の保障 (1) 法律や制度の上で × 年齢



「保障されていると思う」が 18～19 歳で 33.3%と高くなっています。「どちらかといえば保障されているように思う」が 60 歳代で 53.7%と高くなっています。「どちらかといえば保障されていないと思う」が 40 歳代で 17.0%と高くなっています。

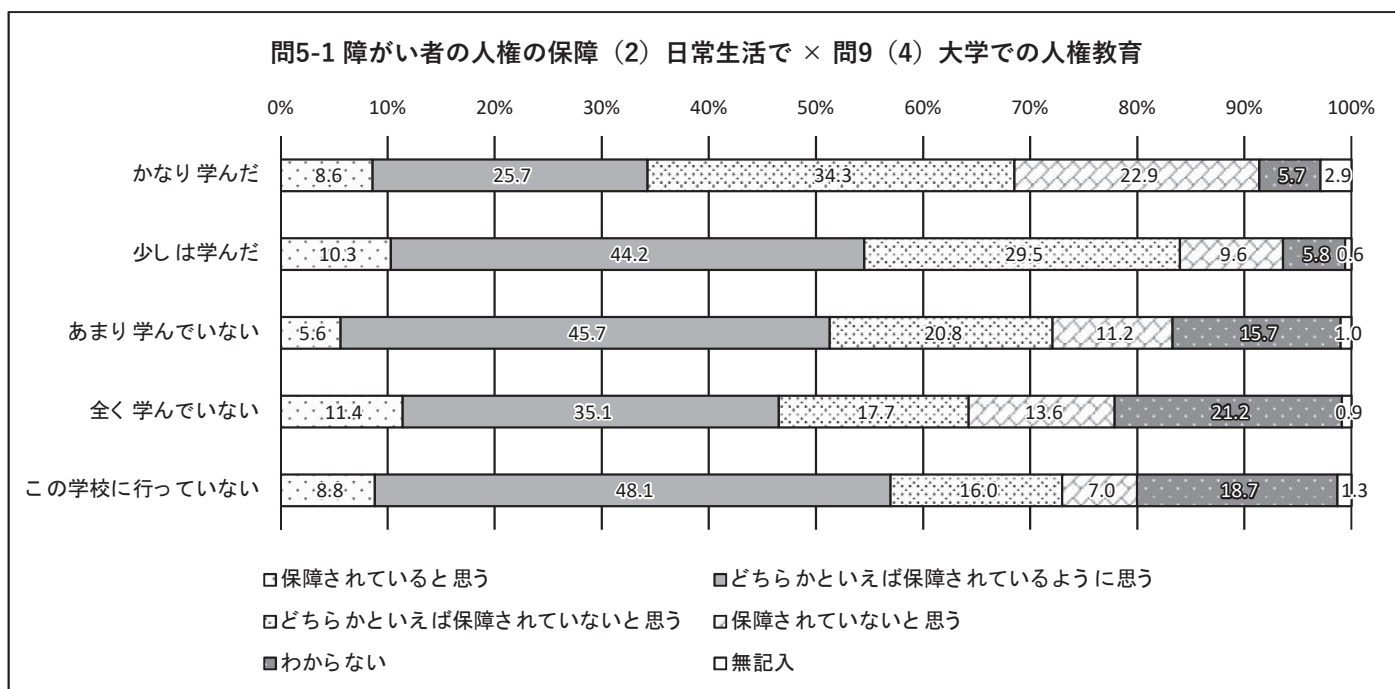
## (2) 日常生活で

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	保障されていると思う	143	9.3	9.6	9.7
2	どちらかといえば保障されているように思う	673	43.7	45.1	40.3
3	どちらかといえば保障されていないと思う	273	17.7	18.3	21.2
4	保障されていないと思う	151	9.8	10.1	7.3
5	わからない	253	16.4	16.9	16.0
	無記入	46	3.0		5.6
	N (%ベース)	1,539	100	1,493	1,996

「あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。」の(2)「日常生活で」について、「保障されていると思う」143 人 9.3%(9.6%)、「どちらかといえば保障されているように思う」673 人 43.7%(45.1%)、「どちらかといえば保障されていないと思う」273 人 17.7%(18.3%)、「保障されていないと思う」151 人 9.8%(10.1%)、「わからない」253 人 16.4%(16.9%)、「無記入」46 人 3.0%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

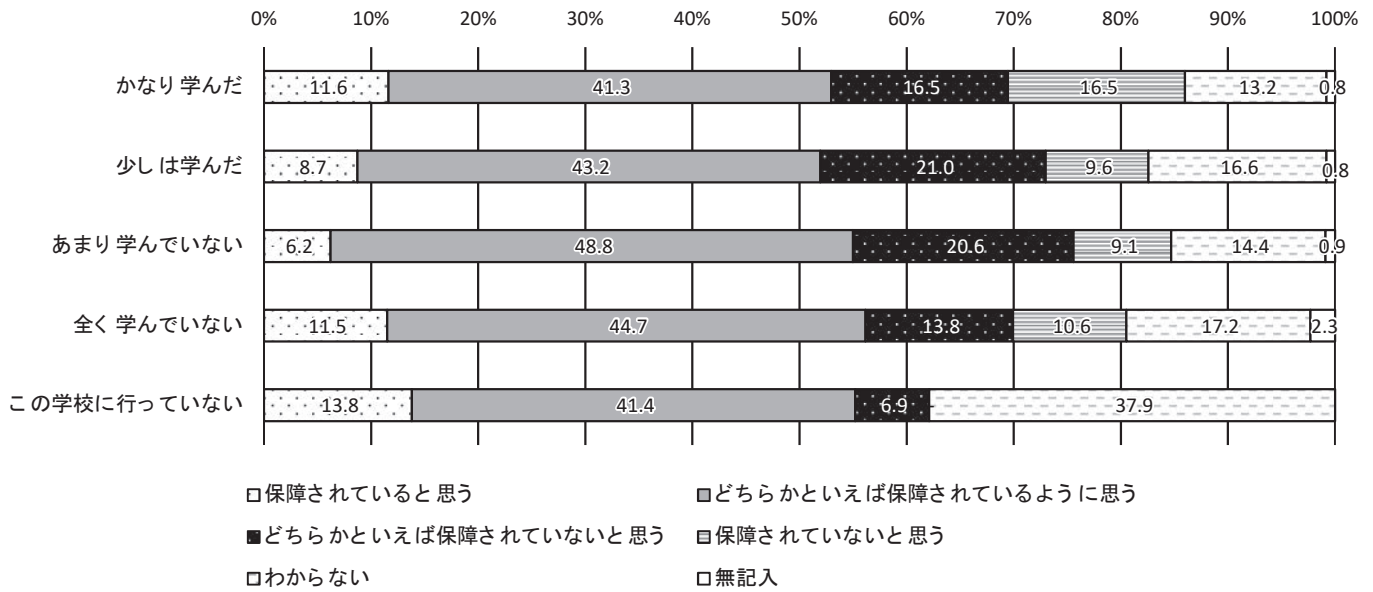
前回調査と比べ、「どちらかといえば保障されているように思う」が 3.4%、「保障されていないと思う」が 2.5%高くなり、「どちらかといえば保障されていないと思う」が 3.5%低くなっています。無記入が 2.6%低くなっています。

多重相関は 0.270 で、有意なモデルです。大学(短大・高専)等での人権教育の関連性が高く、次いで、小学校での人権教育、年齢、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴となっています。性別、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する講演会や研修会等への参加では有意な関連がありません。



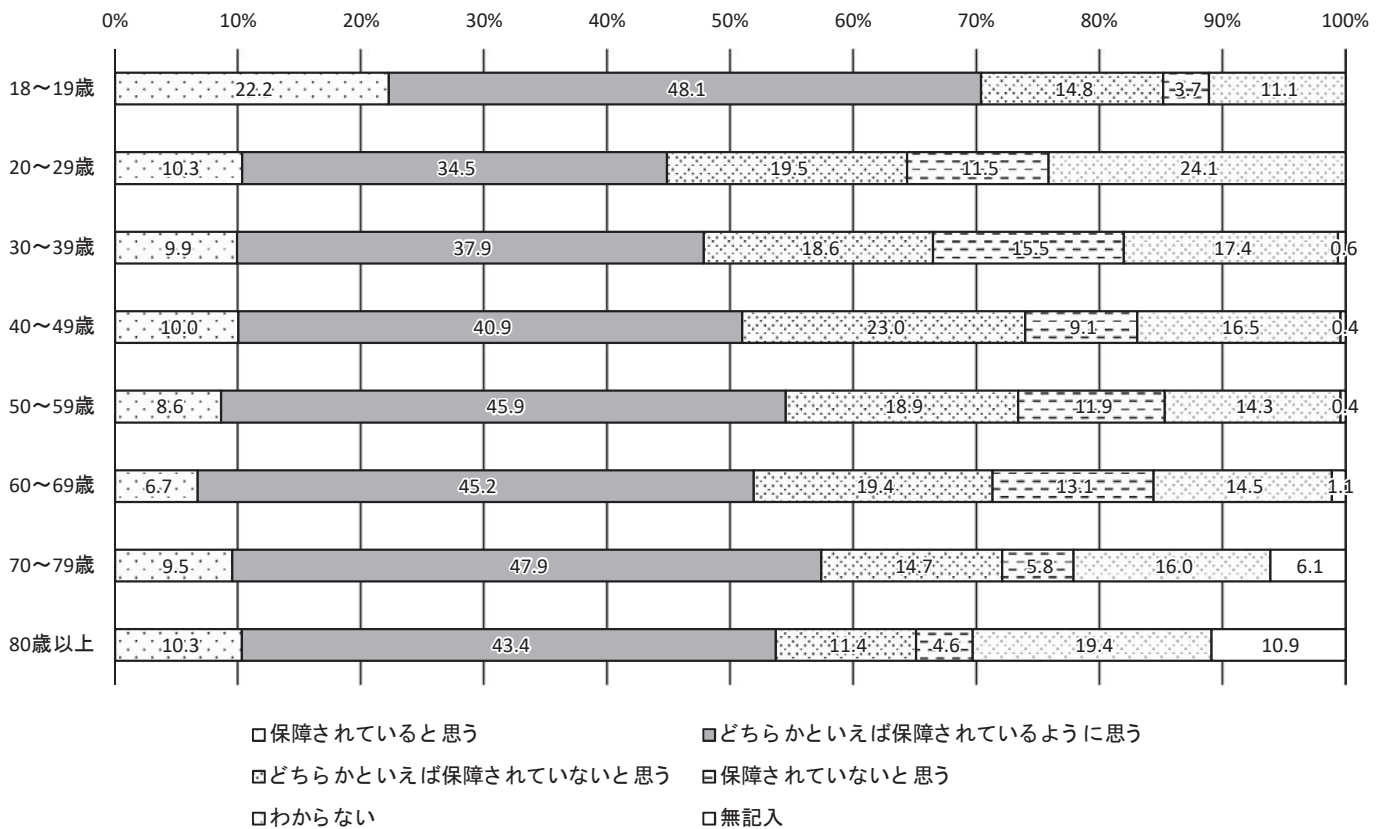
大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人では「保障されていないと思う」が 22.9%、「どちらかといえば保障されていないと思う」34.3%と高く、「どちらかといえば保障されているように思う」は 25.7%と低くなっています。「わからない」が、全く学んでいない人では 21.2%、この学校に行っていない人では 18.7%と高くなっています。

問5-1 障がい者の人権の保障 (2) 日常生活で × 問9 (1) 小学校での人権教育



小学校で人権教育をかなり学んだ人では「保障されていないと思う」が 16.5%と高く、少しは学んだ人では「どちらかといえば保障されていないと思う」が 21.0%、あまり学んでいない人で「どちらかといえば保障されているように思う」が 48.8%と高くなっています。この学校に行っていない人では「わからない」が 37.9%と高くなっています。

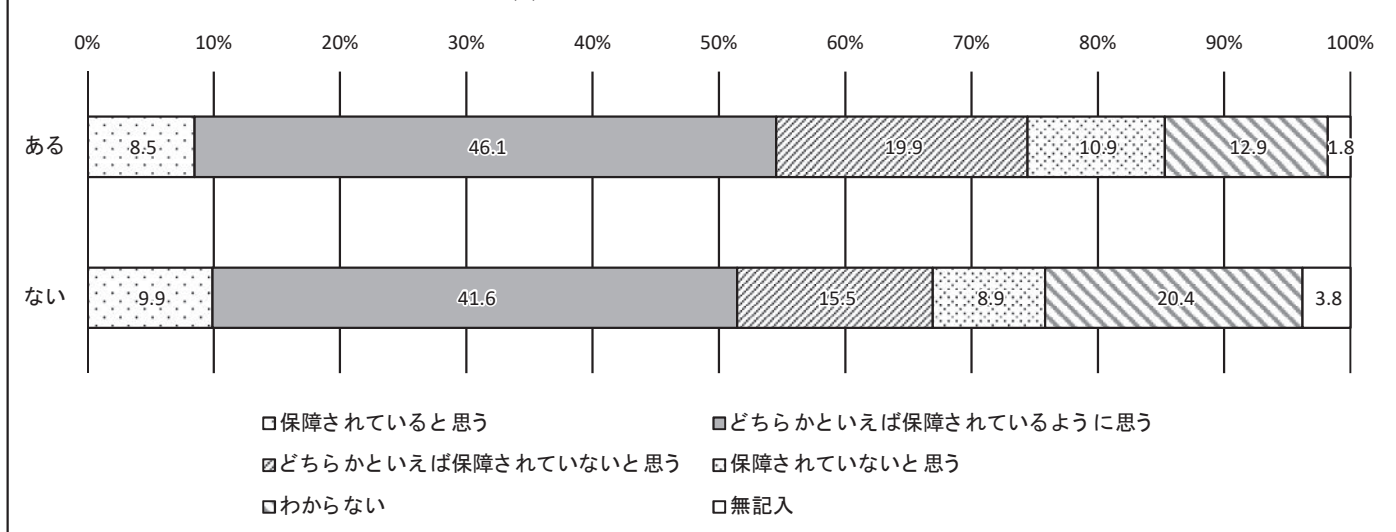
問5-1 障がい者の人権の保障 (2) 日常生活で × 年齢



18～19歳では「保障されていると思う」が 22.2%、「どちらかといえば保障されているように思う」が 48.1%と高く、20歳代では「わからない」が 24.1%と高くなっています。40歳代では「どちらかといえば保障されていないと思う」が 23.0%と高くなっています。



問5-1 障がい者の人権の保障 (2) 日常生活で × 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送を視聴したことがある人では、「どちらかといえば保障されていると思う」が46.1%と高くなっています。視聴したことがない人では「わからない」が20.4%と高くなっています。

### 問 5-2 障がい者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか

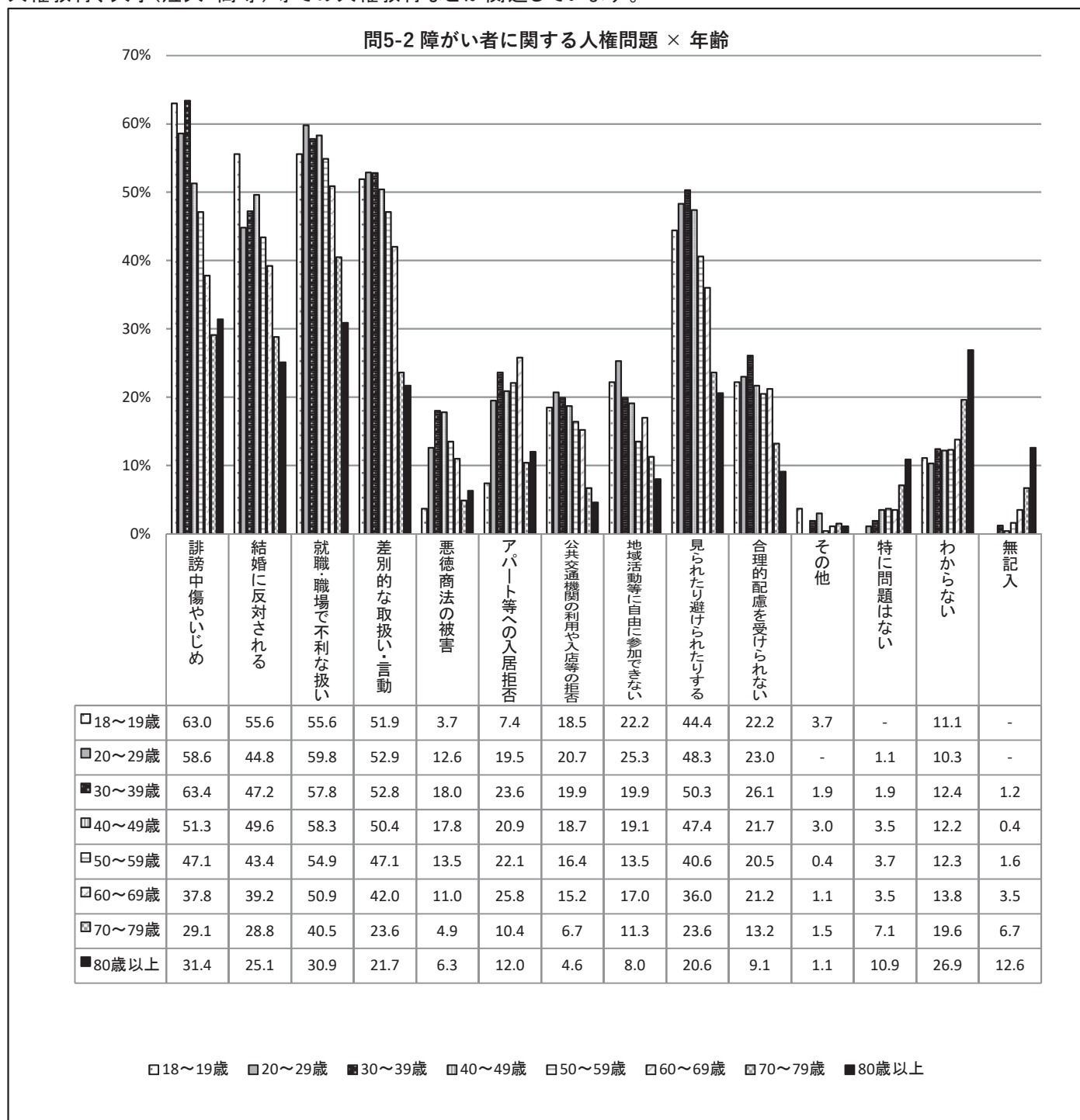
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査	全国調査
3	就職・職場での不利な扱い	760	49.4	51.5	53.7	38.2
1	誹謗中傷やいじめ	662	43.0	44.8		43.3
4	差別的な取扱い、言動	612	39.8	41.4	42.2	38.9
2	結婚に反対される	600	39.0	40.6	39.1	19.0
9	見られたり避けられたりする	559	36.3	37.8	33.8	40.7
6	アパート等への入居拒否	288	18.7	19.5	17.5	12.5
10	合理的配慮を受けられない	288	18.7	19.5	17.0	
13	わからない	242	15.7	16.4	14.7	
8	地域活動等に自由に参加できない	237	15.4	16.0	13.9	14.9
7	公共交通機関の利用や入店等の拒否	213	13.8	14.4	11.8	13.2
5	悪徳商法の被害	173	11.2	11.7	8.6	8.8
12	特に問題はない	73	4.7	4.9	6.5	18.4
11	その他	23	1.5	1.6	2.0	1.4
	無記入	62	4.0		3.7	1.9
	N (%ベース)	1,539	100	1,477	1,996	1,556

「あなたは、障がい者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(複数回答可)」について、1位「3.就職・職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠ける等)」760人 49.4%(51.5%)、2位「1.職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」662人 43.0%(44.8%)、3位「4.差別的な取扱い・言動をされること」612人 39.8%(41.4%)、4位「2.結婚問題で周囲の反対を受けること」600人 39.0%(40.6%)、5位「9.じろじろ見られたり避けられたりすること」559人 36.3%(37.8%)、6位「6.アパート等への入居を拒否されること」288人 18.7%(19.5%)、6位「10.必要な社会的支援や合理的配慮を受けられないこと」288人 18.7%(19.5%)、7位「13.わからない」242人 15.7%(16.4%)、8位「8.スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと」237人 15.4%(16.0%)、9位「7.宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること」213人 13.8%(14.4%)、10位「5.悪徳商法の被害を受けること」173人 11.2%(11.7%)、11位「12.特に問題はない」73人 4.7%(4.9%)、12位「11.その他」23人 1.5%(1.6%)、「無記入」62人 4.0%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

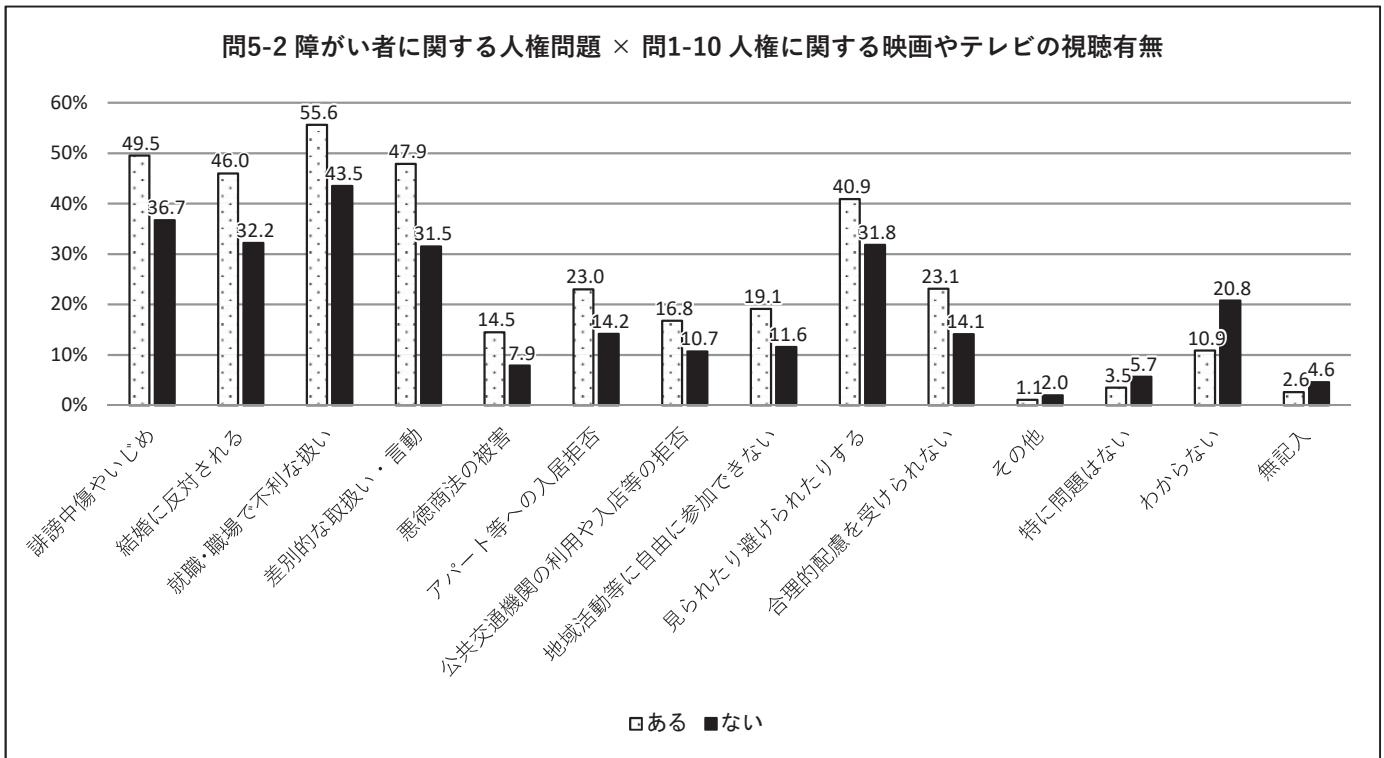
前回調査と比べ、「就職・職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠ける等)」が4.3%、「差別的な取扱い・言動をされること」が2.4%低くなっています。「悪徳商法の被害を受けること」が2.6%、「じろじろ見られたり避けられたりすること」が2.5%高くなっています。

全国調査と比べ、「就職・職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠ける等)」が11.2%、「アパート等への入居を拒否されること」が6.2%、「悪徳商法の被害を受けること」が2.4%高くなっています。「特に問題はない」が13.7%低くなっています。これは「わからない」が全国調査にないことが関係しているかもしれません。

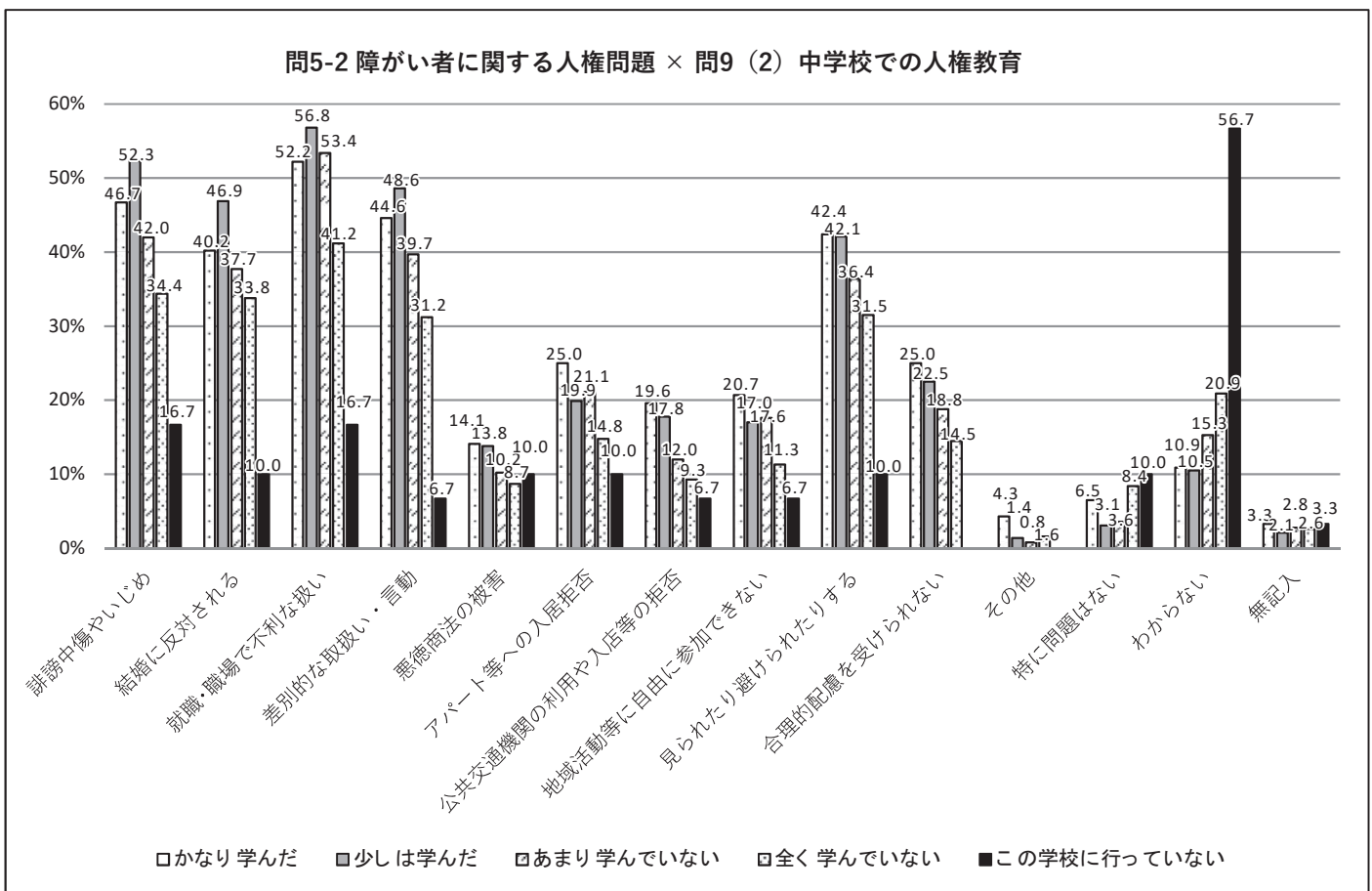
多くの選択肢で年齢が強い関連を持っています。次いで、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等の視聴、中学校での人権教育、大学(短大・高専)等での人権教育などが関連しています。



「職場や学校、地域等で、誹謗中傷やいじめを受けること」、「結婚問題で周囲の反対を受けること」、「就職・職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠ける等)」、「差別的な取扱い・言動をされること」、「じろじろ見られたり避けられたりすること」など、多くの選択肢で18～19歳・20歳代・30歳代・40歳代の割合が高いことがわかります。「アパート等への入居を拒否されること」は60歳代で25.8%と高くなっています。「特に問題はない」、「わからない」は年齢が高いほど高くなっています。

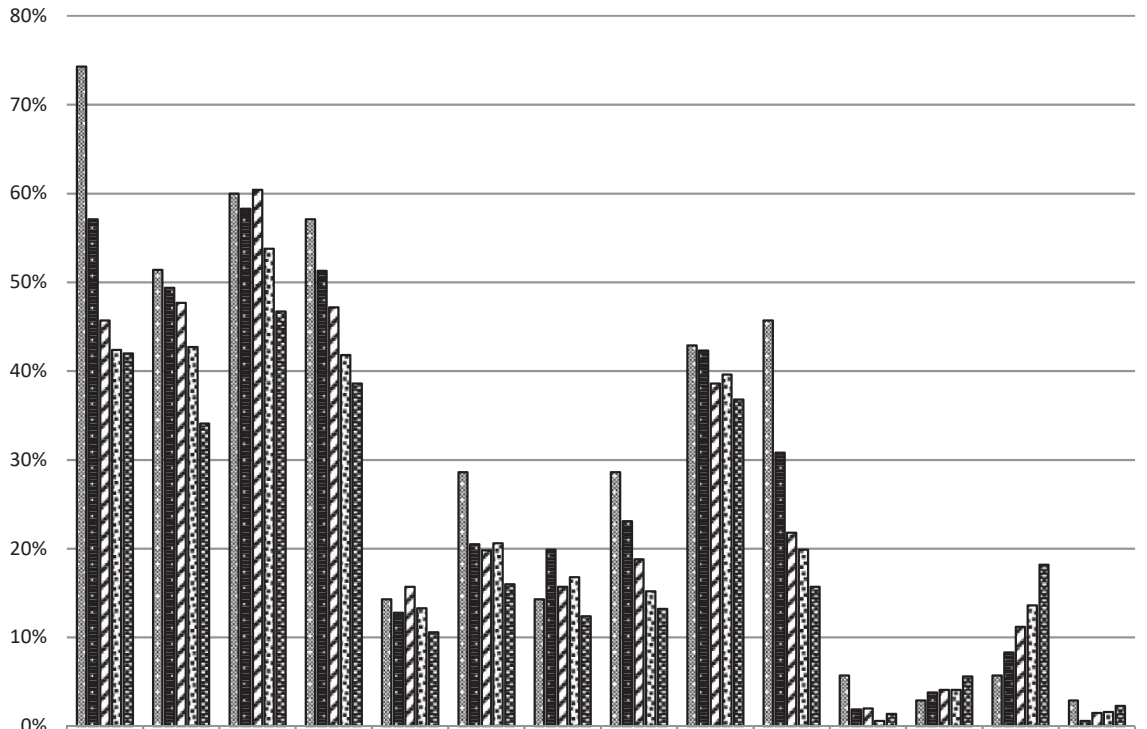


障がい者の人権について、「特に問題はない」と「わからない」を除き、人権に関する映画・ビデオ・テレビ等を視聴したことがある人で割合が高くなっています。



中学校で人権教育を学んだ人と学んでいない人でかなり大きな違いがあります。

問5-2 障がい者に関する人権問題 × 問9 (4) 大学での人権教育



	誹謗中傷やいじめ	結婚に反対される	就職・職場で不利な扱い	差別的な取扱い・言動	悪徳商法の被害	アパート等への入居拒否	公共交通機関の利用や入店等の拒否	地域活動等に自由に参加できない	見られたり避けられたりする	合理的配慮を受けられない	その他	特に問題はない	わからない	無記入
■かなり学んだ	74.3	51.4	60.0	57.1	14.3	28.6	14.3	28.6	42.9	45.7	5.7	2.9	5.7	2.9
■少しは学んだ	57.1	49.4	58.3	51.3	12.8	20.5	19.9	23.1	42.3	30.8	1.9	3.8	8.3	0.6
□あまり学んでいない	45.7	47.7	60.4	47.2	15.7	19.8	15.7	18.8	38.6	21.8	2.0	4.1	11.2	1.5
□全く学んでいない	42.4	42.7	53.8	41.8	13.3	20.6	16.8	15.2	39.6	19.9	0.6	4.1	13.6	1.6
■この学校に行っていない	42.0	34.1	46.7	38.6	10.6	16.0	12.4	13.2	36.8	15.7	1.4	5.6	18.2	2.3

■かなり学んだ ■少しは学んだ □あまり学んでいない □全く学んでいない ■この学校に行っていない

大学(短大・高専を含む)で人権教育を学んだ人と学んでいない人でかなり大きな違いがあります。「特に問題はない」と「わからない」では、人権教育を学んでいない人で割合が高くなっています。

## 8. 部落差別問題(同和問題)

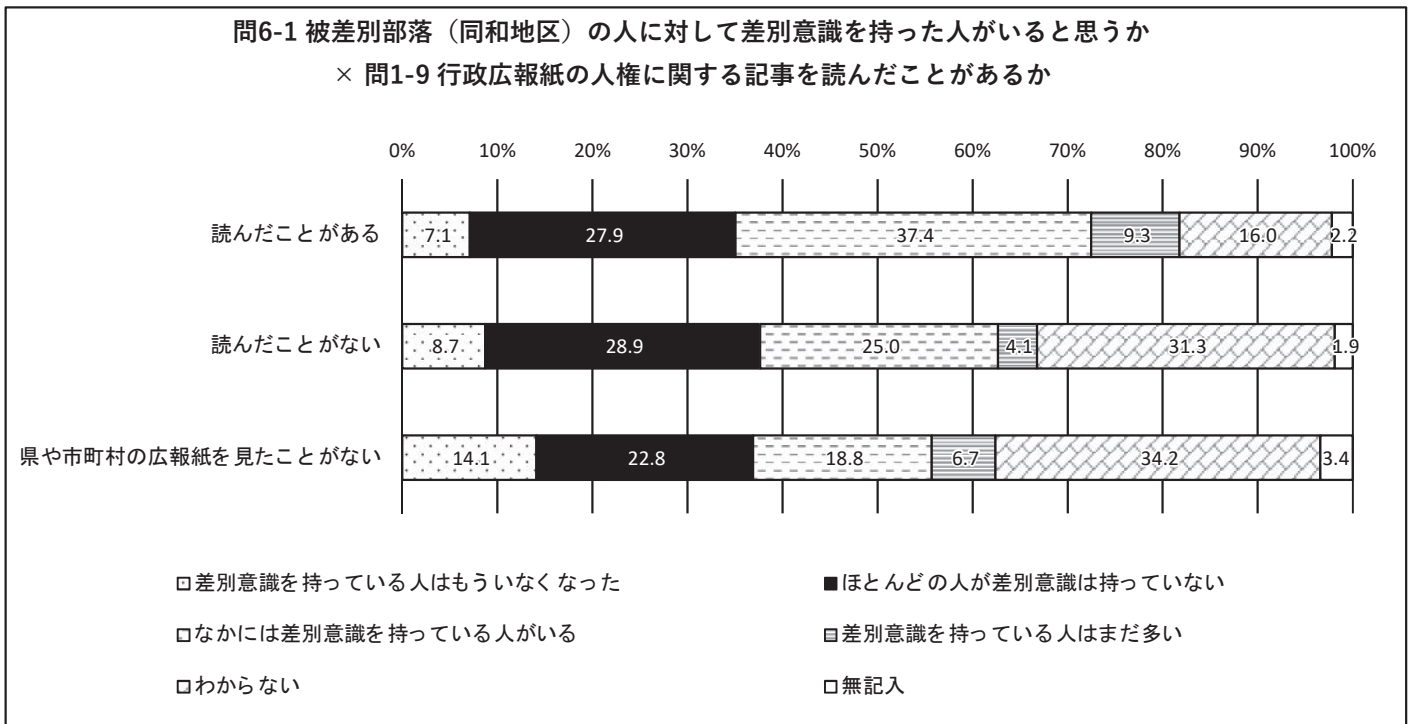
### 問 6-1 被差別部落(同和地区)の人に対して、差別意識を持った人がいると思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	差別意識を持っている人はもういなくなった	126	8.2	8.4	8.5
2	ほとんどの人が差別意識は持っていない	425	27.6	28.4	28.8
3	なかには差別意識を持っている人がいる	484	31.4	32.3	32.8
4	差別意識を持っている人はまだ多い	110	7.1	7.3	6.8
5	わからない	352	22.9	23.5	18.7
	無記入	42	2.7		4.4
	N(%ベース)	1,539	100	1,497	1,996

「あなたは、被差別部落(同和地区)の人に対して、差別意識を持った人がいると思いますか。」について、「差別意識を持っている人はもういなくなった」126人 8.2%(8.4%)、「ほとんどの人が差別意識は持っていない」425人 27.6%(28.4%)、「なかには差別意識を持っている人がいる」484人 31.4%(32.3%)、「差別意識を持っている人はまだ多い」110人 7.1%(7.3%)、「わからない」352人 22.9%(23.5%)、「無記入」42人 2.7%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べほとんど変化はありませんが、「差別意識を持っている人はもういなくなった」が0.3%、「なかには差別意識を持っている人がいる」が1.4%減って、「わからない」が4.2%増えています。

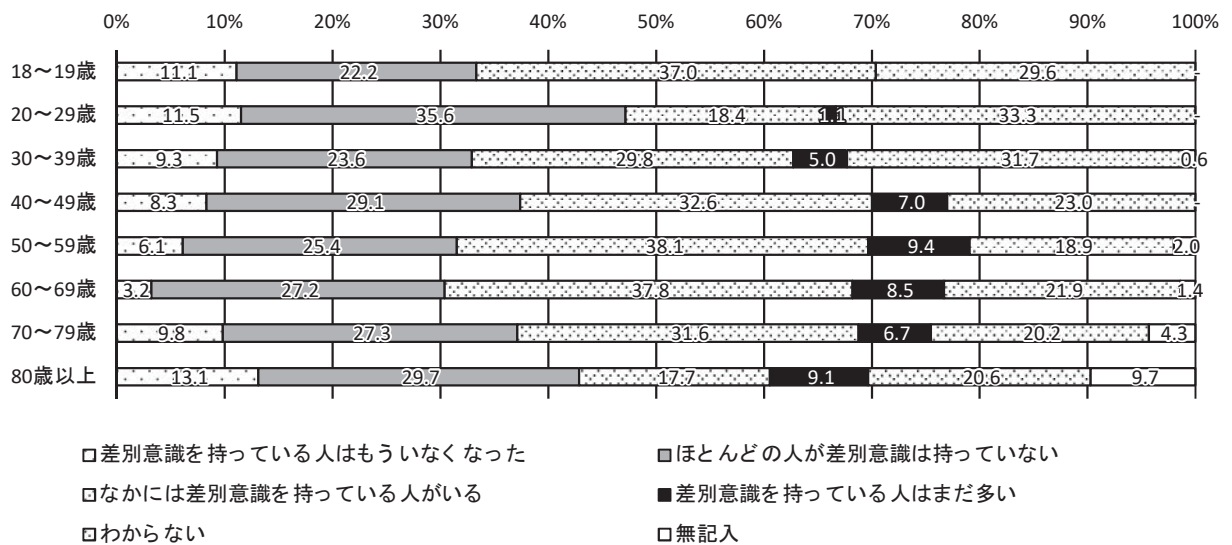
多重相関は0.386とかなり高く、有意な分析です。広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるかの関連性が最も高く、次いで年齢、大学(短大・高専)等での人権教育、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴、人権に関する講演会や研修会等への参加となっています。性別と高校での人権教育では有意な関連がありません。



広報紙の人権に関する記事を読んだことがある人では、「差別意識を持っている人はもういなくなった」が7.1%と低く、「なかには差別意識を持っている人がいる」が37.4%、「差別意識を持っている人はまだ多い」が9.3%と高くなっています。県や市町村の広報紙を見たことがない人では、「差別意識を持っている人はもういなくなった」が14.1%と高く、「なかには差別意識を持っている人がいる」が18.8%、「差別意識を持っている人はまだ多い」が6.7%と低くなっています。

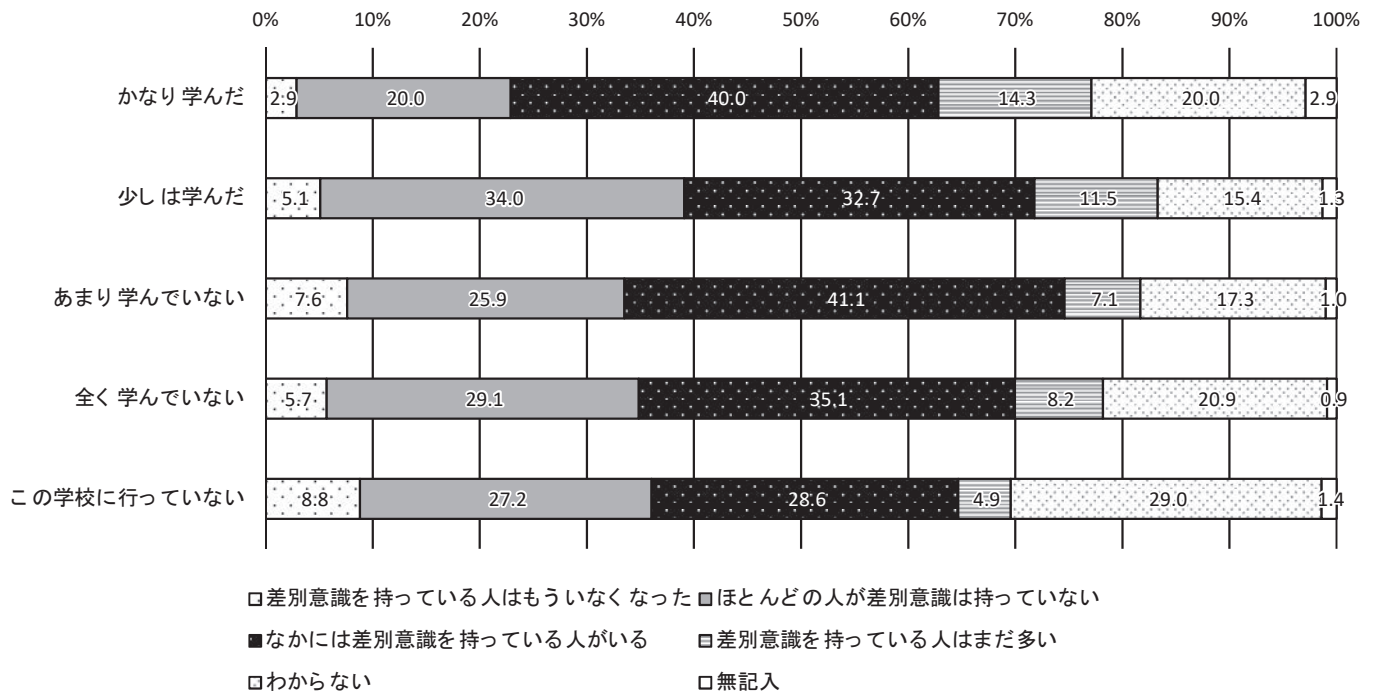


問6-1 被差別部落（同和地区）の人に対して差別意識を持った人がいると思うか×年齢



「ほとんどの人が差別意識は持っていない」が20歳代で35.6%、40歳代で29.1%、80歳以上で29.7%と高くなっています。「差別意識を持っている人はもうなくなった」が、80歳以上で13.1%、20歳代で11.5%、18～19歳で11.1%と高くなっています。「差別意識を持っている人はまだ多い」が50歳代で9.4%、80歳以上9.1%、60歳代で8.5%と高く、18～19歳では0%、20歳代では1.1%と低いです。「わからない」が20歳代で33.3%、18～19歳で29.6%と高くなっています。

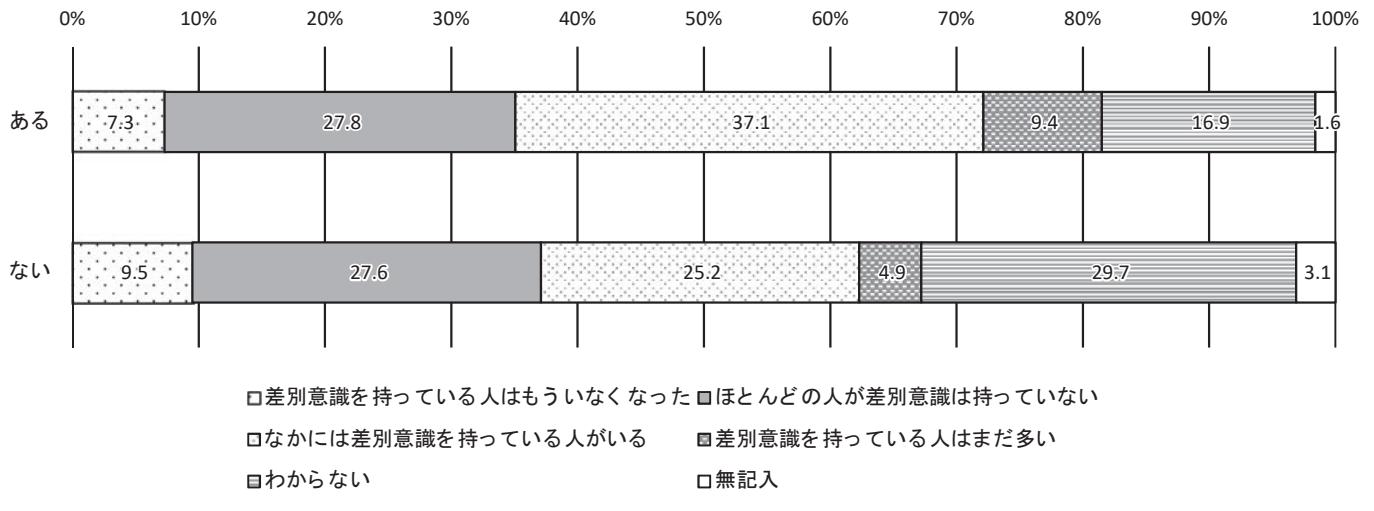
問6-1 被差別部落（同和地区）の人に対して差別意識を持った人がいると思うか  
×問9（4）大学での人権教育



「差別意識を持っている人はまだ多い」は、大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人で14.3%、少しは学んだ人で11.5%と高くなっています。「差別意識を持っている人はもうなくなった」が、この学校に行っていない人で8.8%、全く学んでいない人で5.7%、あまり学んでいない人で7.6%と高くなっています。「なかには差別意識を持っている人がいる」は、大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人で40.0%と、あまり学んでいない人で41.1%と高くなっています。「わからない」はこの学校に行っていない人で29.0%と高くなっています。

問6-1 被差別部落（同和地区）の人に対して、差別意識を持った人がいると思うか

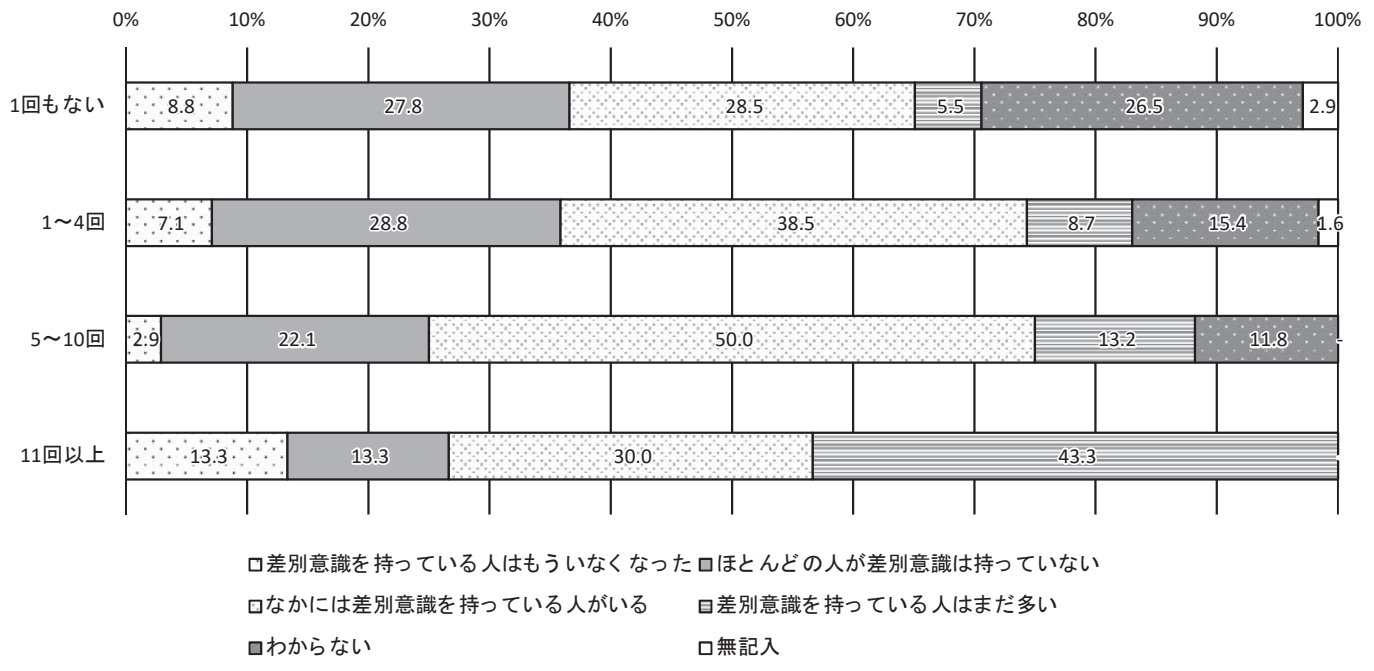
× 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



この5年間で、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を聴いたりしたことがある人では、「なかには差別意識を持っている人がいる」が37.1%、「差別意識を持っている人はまだ多い」が9.4%と高くなっています。ない人では、「なかには差別意識を持っている人がいる」が25.2%、「差別意識を持っている人はまだ多い」が4.9%と低くなっています。また、「わからない」が、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を聴いたりしたことがある人では16.9%、ない人では29.7%となっています。

問6-1 被差別部落（同和地区）の人に対して差別意識を持った人がいると思うか

× 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



この5年間で人権に関する講演会や研修・学習会等に11回以上参加した人では、「差別意識を持っている人はまだ多い」が43.3%と高くなっています。5～10回参加した人では、「なかには差別意識を持っている人がいる」が50.0%、1～4回参加した人では、「なかには差別意識を持っている人がいる」が38.5%と高くなっています。1回も参加したことがない人では「わからない」が26.5%と高くなっています。